

日本リユースシステム株式会社

所在地 【古着deワクチンセンター】

〒292-0838 千葉県木更津市潮浜1-17-105

電話 0120-206-225

事業内容 リユース品やリサイクル品の輸出入および国内販売

従業員数 60人 URL <https://www.nrscorp.jp/index.html>



衣類の有効活用と開発途上国にワクチンを届ける 取り組みを筆頭に様々なSDGs事業を創出

SDGs達成に向けた取り組み

取組 ① 古着deワクチン



- 目的/物のあふれる日本では毎年約33億着もの良質な衣類がごみとして大量に捨てられていて、かたや世界に目を向けるとワクチンで予防可能な病気で20秒に1人の子どもが亡くなっているという点に着目し、そうしたアンバランスな現状を結びつけ、解決に繋げたい思いで平成22年11月からこの取り組みをスタートしました。
- 活動内容/不要になった衣類、バッグ・靴・服飾雑貨を便利に片づけることができ、加えて国内外の社会貢献に繋がるお片づけサービスです。利用者は、お片づけの専用キットを購入し、洋服や服飾雑貨を衣類回収袋に詰めて発送するだけでとても簡単に取り組みに参加できます。そして5つのいいことにもつながります。①お部屋がすっきり片づく②不用になった衣類を廃棄することなく再利用してCO2削減にもつながる(お送りいただいた衣類はカンボジアを中心に再販売・再輸出される)③1キットにつき5人分のポリオワクチンが開発途上国の子どもに贈られる④配送キットの梱包作業などを福祉作業所が実施することで、国内の障がいを持つ方のお仕事を創出⑤カンボジア直営センターでは、ポリオの後遺症による障がいをもつスタッフが自立を目指し働いている為、雇用の創出につながる
- 目標/古着deワクチンは、ポリオで苦しむ子どもが1人もいなくなる世界を目指しています。国内外にわたるこの取り組み全体で、累計1,000万人分のワクチン寄付を目標に、様々なパートナーと連携して推進していきます。

古着deワクチンの仕組み



取組 ② お針子事業

- 活動内容/着物deお針子(古着deワクチンの姉妹シリーズ)で集まった着物や帯をモンゴルの工場に送り、独自の技術で生地に戻し、ヨーロッパを中心に「Kimono Upcycle Cloth OHARIKO」として販売しています。工場働く従業員も、障がい者や貧困層、シングルマザーなどの多様な人々を採用し、現地で新たな雇用を生み出しています。
- 目標/モノをできるだけ長く使い、続ける取り組みで、廃棄物を減らし、持続可能な消費と生産の実現を目指します。



古着deワクチンが第3回ジャパンSDGsアワードで特別賞(SDGs/パートナーシップ賞)を受賞

企業からのメッセージ

●きっかけ/「誰が購入・利用しても誰と取引してもあらゆる国の人々に「それって素敵だね!」と評価していただける商品提供・サービス・事業・活動を行うオンリーワンアドベンチャーとして挑戦し続けます。」を企業ビジョンに掲げ、創業以来循環型社会の実現に向けて取り組んでいます。 ●成果/平成22年11月の活動開始から令和6年12月までに、累計で約600万着分の衣類を再利用し、約800万人分のワクチンを寄付させていただきました。令和元年、「古着deワクチン」は、持続可能なビジネスモデルと長年の社会貢献が評価され、「第3回ジャパンSDGsアワード」※にて特別賞(SDGs/パートナーシップ賞)を受賞しました。 ●今後の展望/2030年までのSDGsのゴール達成に向けて、衣類等のサステナブルな活用と、国内外の障がいがある方の自立をサポートする挑戦を加速するため、「古着deワクチン」をOEM(委託)販売いただける通販・物販企業の共創パートナーを募集しています。

企業の一言PR

令和7年で15年目を迎える古着deワクチンは、月30,000人のお客様にご利用いただいております。千葉県木更津市のセンターには毎日約800袋が届いています。関係するスタッフがなげない日常や活動内容をInstagramに投稿していますので是非ご覧ください。



nrsc_staffdiary

※ジャパンSDGsアワード: 全国務大臣が構成員であるSDGs推進本部が、SDGs達成に向けて優れた取り組みを行っている企業や団体などを表彰するもの(平成29年度~令和6年度に実施)。



みんなの具体的な行動で
持続可能な世界を!

ちばSDGs

取組事例集



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん



ちばSDGs



千葉県

